

ふくしまの森林文化調査カード

No.3

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 2. 森の恵み 3. 森と技 4. 森と暮らし 5. 森の文化財 6. 森の風景	
分野(ふりがな)	(分野) キリ	(ふりがな) きり
地域独特の呼び方	—	—
タイトル	会津桐(ふくしまの森林をつくる樹木)	
伝承地域	会津地方の只見川流域から生産される、いわゆる会津桐は、そのすばらしい形質により、古くから日本有数の優良な桐として知られており、生産量・品質とも日本一を誇っています。	
由来(年代)	キリは有用材として約350年前から会津地方で栽培されてきた。会津桐は南部桐(岩手県)と等しく名高い。	
内容	「娘が生まれたら桐を植え、嫁入りにそれで箆笥を作れ」と言われるほど桐の成長は早い。 キリ材の特長として、水に浮くほどとても軽い、軽い割に適度の強度があって割れや狂いが少ない、湿気を吸っても材が膨張せず狂いが少ない、柔らかいので加工し易い、防火にも優れる等を挙げることができる。「錐通す霧は通さず桐の箱」とはこのような性質を言い当てている。これらの特長を活かして、箆笥、長持の和家具から火鉢、膳などの漆器木地、襖の骨、天井板、什器箱、琴などの楽器、下駄、ピンポンラケット等多種多様の製品が作られている。	
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —
見頃	—	
交通アクセス	—	
文化財等の指定状況	—	
問い合わせ先	福島県立博物館(TEL:0242-28-6000)	

【フリーフォーマット】

キーワード



伐り出されたキリノキ(金山町上田産)



キリの花(喜多方市)